

北海道TDM研究会 第27回研究発表会

例年、北海道TDM研究会ではTDMの基礎および応用研究に関する発表会を実施しております。近年は特に若手の研究成果や症例発表の場として認知されているところです。また明治薬科大学長・薬物治療学教授 越前宏俊 先生をお招きしての特別講演も開催されます。多数ご参加くださいますようにご案内申し上げます。

日時：平成25年11月30日（土）14：30～17：30

場所：北海道薬科大学サテライトキャンパス（札幌市中央区北3条東1丁目）

報告 『TDMへの応用を目指した血漿中ベプリジル濃度と臨床効果に関する研究』

野田 久美子（北海道医療大学）

演題-1 「Caco-2細胞におけるNPC1L1を介したコレステロール輸送の特徴」

1) 北海道大学薬学部²⁾ 北海道大学大学院薬学研究院
阿部沙也華¹⁾、竹川悠人¹⁾ 佐藤夕紀²⁾、鷺見正人²⁾、武隈洋²⁾、菅原満²⁾

演題-2 「リトドリン胎盤移行の定量的評価」

1) 天使病院薬剤科²⁾ 天使病院産婦人科³⁾ 北海道薬科大学
相馬まゆ子¹⁾、佐々木洋一¹⁾、藤枝聡子²⁾、吉田博²⁾ 今田愛也³⁾、
戸田貴大³⁾、早川達³⁾、猪爪信夫³⁾

演題-3 「テアニンの体内動態および吸収機構の解明」

1) 北海道大学薬学部²⁾ 北海道大学大学院薬学研究院
亀田佑生¹⁾、佐藤夕紀²⁾、鷺見正人²⁾、武隈洋²⁾、菅原満²⁾

演題-4 「CHDF施行時間に応じたバンコマイシンの投与設計を行った1例」

1) 北海道大学病院薬剤部²⁾ 北海道大学大学院薬学研究院
³⁾ 北海道大学病院先進急性期医療センター⁴⁾ 北海道大学病院臓器移植医療部
今井俊吾¹⁾、山田武宏¹⁾、丸藤哲³⁾、嶋村剛⁴⁾、井関健¹⁾²⁾

演題-5 「薬物曝露による細胞周期変化が細胞周期依存性の抗癌剤の作用に与える影響」

1) 北海道大学薬学部²⁾ 北海道大学大学院生命科学院
³⁾ 北海道大学大学院薬学研究院
吉岡美咲¹⁾、田澤佑基²⁾、佐藤夕紀³⁾、鷺見正人³⁾、武隈洋³⁾、菅原満³⁾

演題-6 「抗悪性腫瘍薬オキサリプラチンのHILIC/MS/MSによる血中濃度測定法の確立」

¹⁾北海道大学薬学部臨床薬剤学研究室²⁾北海道大学病院薬剤部

伊藤創¹⁾、山口浩明¹⁾、井関健¹⁾²⁾

特別講演 座長：猪爪 信夫（北海道薬科大学）

『Omics時代の個別化薬物療法においてTDMは第2の黄金時代を迎えるか』

明治薬科大学副学長・薬物治療学 教授

越前 宏俊 先生

※日本薬剤師研修センター研修認定となります。

主催：北海道TDM研究会・日本薬学会 北海道支部

お問い合わせ先

中村記念病院薬剤部 山澤裕司

011-231-8555

yuji@nmh.or.jp